



ヒートポンプ給湯

▶ 鳥取県鳥取市

社会福祉法人 鳥取県厚生事業団

特別養護老人ホーム ふしの白寿苑

贈呈
理由

ヒートポンプ・蓄熱システムの導入により、 高効率オール電化施設を実現



特別養護老人ホーム ふしの白寿苑



大きな窓を採用し、明るい苑内が特徴



業務用エコキュートと貯湯槽

地域福祉を担う 特別養護老人ホーム

社会福祉法人 鳥取県厚生事業団は、1970年に鳥取県の外郭団体として設立し、同県の障害者施設および高齢者施設などの運営を受託してきた。

2005年に同県から12施設を譲り受け自主独立採算による運営となり、現在17施設を管理している。

基本理念に「すべての利用者の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを基本とし、福祉サービスの質の向上を図り、地域福祉に貢献する」を掲げ、同県の地域福祉の発展と向上に貢献している。

ランニングコストの低減、安全性と 経済性によりオール電化を採用

2018年に移転オープンした特別養護老人ホーム「ふしの白寿苑」(入所定

員70名、ショートステイ10名)は、介護基本理念の「きれいな環境とホットな思いやりであなたらしく」の実現を目指した施設で、木を基調とした温かみのある内装や季節の移り変わりがダイレクトに感じられる大きな窓を設けた空間づくりが特徴のオール電化施設である。ここではプライバシーと個性を尊重した「ユニットケア」を導入することで、利用者の個性にあわせた生活を提供している。

同施設のオール電化システム採用にあたっては、2011年に改築した管理施設(皆生みどり苑)でオール電化を導入した実績から、火災の心配が少なくランニングコストの低減につながるという安全性と経済性の両面が決め手になった。

同施設の給湯設備は、大気熱を利用してお湯を沸かす高効率な業務用エコキュートを採用し、割安な夜間電力の有効利用とともに省エネルギー・

省コストを両立している。

給湯設備の屋上設置にあたっては、熱源機の分散設置による点検や故障時の給湯全停止のリスク回避、貯湯槽から浴室への最短接続による景観への配慮や給湯配管からの放熱ロスの抑制などを考慮した。

施設のオープンからまだ日が浅く、業務用エコキュートの運転方法に改善の余地があると考えており、今後はエネルギー使用状況を確認・分析しながら給湯温度や貯湯量などを見直し、さらなる省エネルギー化を図り、環境にもやさしい施設運営を目指す。

ふしの白寿苑

所在地:鳥取県鳥取市伏野1771-36
建築設計:白兔設計事務所
建築施工:ジューケン・都市建設工業 共同企業体
蓄熱設備設計:エクス・プラン
蓄熱設備施工:ジューケン・都市建設工業 共同企業体
延床面積:4,688㎡
竣工:2018年新設

■蓄熱設備概要

業務用エコキュート 30kW×2台[三菱重工業]
貯湯槽 4m³×2台